

# 第8回 全国被災地 語り部シンポジウム in 和歌山

～200歳の語り部～巨大地震と津波を考える～

2023年3月18日(土)

稲むらの火の館 広村堤防 広川町民会館

「稲むらの火」の舞台・和歌山県広川町に全国から語り部や防災関係者が集い、災害伝承や防災活動について話し合いました

## 第1部 ～広村堤防 語り部まちあるき～

広川町日本遺産ガイドの会  
熊野 亨氏・酒井 竹男氏 広村堤防・語り部



## 第2部 ～濱口梧陵記念館・津波防災教育センター見学～

崎山光一館長 施設紹介



## 第3部 ～開催挨拶～

## ～歓迎挨拶～



## ～パネルディスカッション～ 200歳の語り部～巨大地震と津波を考える

コメンテーター  
金 千秋  
池田 尚弘  
コーディネーター  
平林 英二



## 第4部 ～分科会～

### [1] 全国の災害語り部の取組みと歴史



安政の南海地震 佐々木 博子  
昭和南海地震 浅里 耕一郎  
紀伊半島大水害 黒谷 静佳  
阪神・淡路大震災 伊藤 俊  
東日本大震災



コーディネーター 照本 清峰(関西学院大学建築学部教授)  
司会 森 康成(北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア)

### [2] 文化・社会の語り部～平時からの取組み～

徳島県立南部防災館 中山 美紀子  
南三陸ホテル観洋 阿部 憲子  
エフエム和歌山 山口 昭昌  
白浜町文化財審議会委員 玉田 伝一郎

司会 山地 久美子



### パネリスト

崎山 光一(稲むらの火の館館長)  
杉本 伸一(雲仙岳災害記念館館長)  
米山 正幸(北淡震災記念公園総支配人)  
リチャード・ハルパーシュタット  
(石巻市震災遺構・門脇小学校館長)



### 和歌山語り部宣言

全国被災地語り部 和歌山宣言

私たち「被災地語り部」は、安政の南海地震津波時に命の灯・「稲むらの火」によって「逃げる道」を示し、多くの村民を救った濱口梧陵翁の功績を語り継ぐ和歌山県広川町に国内外から集い、各地の取組み、災害伝承施設の現状と課題について語り合いました。

閉会にあたり、「誰もが語り部」であり、災害の歴史の反省と教訓を積み重ね、未来の命を守るための取組みを広く伝え続けることをここに宣言します。

1. トルコ・シリア地震で多くの命が奪われました。南海トラフ巨大地震が予測される中、世界各地で自然災害が頻発しています。命を守り、一人ひとりを大切に、郷土愛を育むため、積み重ねてきた経験と教訓を次の世代と隣の人に伝える取組みを続けます。

2. 8回のシンポジウムを経て、地域間に広がってきた緩やかな語り部交流ネットワークをさらに広げていきます。交流により多様な自然災害を学び、多様な手法で継承していきます。

3. 被災の経験を文字・音声・映像その他の手段により記録し、心に残る記憶を伝え、残し、災禍に遭う人を一人でも減らせるよう実践します。

自然環境や社会情勢の変化により、地元地域への理解を深めることがより大切になってきています。これからも発信方法を工夫し、災害伝承施設や地域資源を活かした活動を展開していきます。

## 第5部

### ～総括～



### ～閉会～



『和歌山語り部宣言』